

令和８年度 中学生ものづくり体験教室実施要領

この事業は、島根県（商工労働部雇用政策課）からの委託を受けた事業者が実施します。

実施にあたっては学校側と連携を密にし、できる限り学校の希望に添える形での開催に努めます。

実施に係わる要領は概ね次のとおりとします。

- (１) 派遣する職種、スケジュールは事前に学校側と協議し決定。
- (２) 生徒の希望を勘案し、「１職種２０名～３５名（できるだけ均等）」にグループ分け。
ただし、日本料理職種は講師の確保上１６名程度（最大２０名、４～５グループ）とします。
- (３) 実習時の服装は、基本的には「トレーニングシャツ」「トレーニングパンツ」。
- (４) 標準的な時間割は下表のとおり。

	開講式(全体) 講堂等、司会進行:学校				移 動	職 種 別 実 施 (各教室)					移 動	終講式(全体) 講堂等、司会進行:学校				半 日 (3～3.5時間)
次 第	校長挨拶	講師紹介	講師代表 挨拶	注意事項	各教室へ	講師自己紹介 内容説明(講師)	講 話 実 習	後片づけ	質疑応答	途中休憩 そ の 他	終講式 会場へ	作品披露と感想 各体験職種の代表	講師代表 講評	校長挨拶		
所要時間(分)	10				(5)	160～180					(5)	10				180～210

(記) 作品披露は複数職種実施の場合

- (５) 体験学習の実施概要（内容等）は別表１～３のとおりです。
- (６) 実施後、受講生徒全員及び学校からの感想文を提出していただきます（後日で可）。
- (７) 実施に係わる経費は島根県及び受託事業者が負担します。

実施概要（１）

注）体験内容が変更となる可能性もあります

区分	職 種	団 体 名	派遣講師	対象人数	体 験 学 習 〔実施形態〕	学 習 内 容	学校で準備するもの		技能士会で準備するもの		備 考
							会 場	作業台、用具等	器具工具類	材 料	
I 建 設 関 連	造 園	島根県造園 技能士会	3	20 ～ 35	植物・土・石を実際に 使った「ミニチュア 庭園」製作	1. 造園についての講話 2. 用意された材料を利用して オリジナルの庭園づくり ・道具の扱い方等	一般教室 又は工作室	特に必要なし ・机 ・椅子 ・鉛筆2B ・ドリル 時の座板 木端材を4枚程度	・園芸用のこ ぎり ・ハサミ ・切出ナイフ ・電動ドリル ・その他	・プラスチック容器 ・ケト土、砕石、砂 利、植物材料等	自然に親しむ心の育成と 「ものづくり」の楽しさ を体験してもらいたい。
	石 工	来待石灯ろう協同 組合技能士会 松江石灯ろう協同 組合技能士会	3	20 ～ 35	来待石の石版を使用し ての彫刻体験 (レリーフを作成) 「個人別作業」	1. 来待石についての学習 ・来待石の特徴、歴史、加工 加工用途、産品等の講話 ・伝統工芸技能者の体験談 2. 石工具（ノミや金槌、ツツキ） の使い方	屋内外いづ れでも可 (天候に応 じて)	・鉛筆2B又はフォーク ・下絵（事前に彫 刻したい絵柄を 180mm×180mmの 紙で各人準備） ・ブルーシート	・石のみ ・ツツキ ・かなづち ・ドンゴロス (下敷き麻袋)	・来待石石版 W:200mm H:200mm t: 40mm	伝統的工芸品の指定を受 ける出雲石灯ろうをはじ め、来待石を使った郷土 産品についての学習と、 「ものづくり」の楽しさ を体験してもらいたい。
	タイル張り	島根県タイル 技工会	2～3	20 ～ 35	アートモザイクの製作 タイルの額縁に モザイク絵を作成 「個人別作業」	1. タイルについての講話 2. 事前に自分でデッサンした絵 をもとに、様々な形状、大き さや色のザイクタイルを300mm ×300mmの額縁ボードに自由に 貼り付けてモザイク絵を作成	一般教室 又は工作室	・机 ・椅子 ・下絵 ・筆記用具 ・ティッシュ	・ボンド塗り 付用ヘラ	①額縁 300mm×300mm1枚 ②モザイクタイル 大小異形状で、 様々な色のタイル ・ボンド	アートモザイクは、自由 な発想により個性を表現 し、自己のイメージを演 出する能力を養うととも に、感性を高めるのに適 しています。
	建築板金	島根県建築板金 技能士会	4	20 ～ 35	銅板のレリーフ 「個人別作業」	1. 建築板金についての講話 2. 150mm×200mm厚さ0.15mmの銅 板の上に下絵（線画）を描き、 竹べら等を使って凸凹をつ けて銅板レリーフを作成	一般教室 又は工作室	・机、椅子 ・描きたい下絵が あれば生徒持参 ・筆記用具 ・ティッシュ	・竹べら ・マット ・その他	・銅板 ・下絵（イラスト） ・額縁	ものづくりを通じて根気 、集中力を養うとともに 作品を持ち帰り、茶の間の 話題づくりに生かして もらいたい。
	建築大工	島根県建築組合 連合会技能士会 平田技能士会 大田地域技能士会	3	20 ～ 35	ミニ椅子の製作 「個人別作業」	1. 建築大工、木材についての講話 2. のこぎりの使い方 かんなの使い方 かなづちの使い方	工作室	・のこぎり ・かんな ・かなづち ・釘抜き（4～5個） ・木工ボンド ・筆記用具	・のこぎり かんな かなづち の予備 (若干数)	・半加工の木材 ・釘 ・ボンドの予備	一つの物を作り上げるこ との感動を体験してもら い、自からの手で完成し た物を慈しむ心を養って もらいたい。

実施概要（２）

区分	職 種	団 体 名	派遣講師	対象人数	体験学習 〔実施形態〕	学 習 内 容	学校で準備するもの		技能士会で準備するもの		備 考
							会 場	作業台、用具等	器具工具類	材 料	
Ⅰ 建 設 関 連	建 具	島根県建具協同 組合技能士会	2～3	20 人 35	「亀甲文様組型のミニ 障子飾り」の製作 「個人別作業」	1. 木と建具についての講話 ・ 木の種類（広葉樹、針葉樹、 常緑樹、落葉樹等） ・ 木の性質（柾目、板目、冬目、 夏目等） ・ 建具の種類（襖、障子、硝子 戸、板戸等） ・ 建具の役割（開き引き戸、 開口部の開閉、目隠し等） 2. あらかじめ加工してある亀甲 文様組型の部材を組立て、和 紙を貼ってミニ障子を製作	一般教室 又は工作室	・ 机 ・ 椅子 ・ 筆記用具 ・ かなづち5挺程度 ・ 糊付け時の下敷き 用に古新聞を少々 ・ ティッシュ	・ ボンド塗り 付用ヘラ ・ 刷毛 ・ のこぎり他	・ 亀甲文様組型部材 ・ ミニ障子組立用の 部材 ・ 障子紙 ・ ボンド ・ 糊 ・ その他	木についての知識を得る ことにより、自然環境に 関心を持っていただき、 自然が生み出す有限の恵 みを大切にする心を培っ てもらいたい。
	畳製作	島根県畳製作 技能士会	3	20 人 35	「ミニ畳」の製作 「個人別作業」	1. 日本建築における畳の特性等 についての講話 2. 手縫いとタカ-止めによるミニ 畳の製作	一般教室 又は工作室	・ 机 ・ 椅子 ・ 筆記用具	・ タッカー ・ 縫い針、糸 ・ 定規 ・ 木槌 ・ はさみ ・ クリップ ・ 鉛筆 ・ その他	・ 畳床用ボード ・ 畳表 ・ 畳縁 ・ 下紙 ・ その他	日本の風土に適した畳の の特性と、先人達の智恵 を学んでもらうとともに、 「ものづくり」の楽しさ と、物を完成させること の喜びと感動を与えたい。
	左 官	島根県左官 技能士会	3～4	20 人 35	漆喰コテ絵製作 「個人別作業」	1. 日本建築における左官工事の 特性等についての講話 2. 匠の技を生み出す左官コテの 説明 3. 色漆喰、コテの使い方 木製パネル（300mm×400mm） に漆喰でコテ絵を製作し余白 に絵の具を塗って完成する	工作室又は 近くに給排 水設備のあ る一般教室	・ 作業台 ・ 椅子 ・ 絵の具セット ・ 筆記用具 ・ 下敷き用古新聞 ・ ティッシュ	・ 専用コテ ・ コテ板 ・ ブラシ ・ その他	・ 木製パネル ・ 白セメント ・ 練り漆喰 ・ 色粉 ・ 接着材 ・ 下絵 ・ その他	伝統の技、コテ絵による 漆喰彫刻を体験し、先人 達の素晴らしさを自分達 の手で完成させ、作るこ との楽しさと、完成させ た時の喜びを体験しても らうことです。

実施概要（3）

区分	職 種	団 体 名	派遣講師	対象人数	体験学習 〔実施形態〕	学 習 内 容	学校で準備するもの		技能士会で準備するもの		備 考
							会 場	作業台、用具等	器具工具類	材 料	
Ⅱ 消 費 関 連	和 裁	島根県和裁 技能士会	3	20 人 35	裁縫袋づくり 「個人別作業」	1. 和裁についての講話 ・ 日本古来からの和服について ・ 針を使つての縫い方（運針） 2. 裁縫袋づくり	家庭科教室 がよいが、 一般教室で も可	・ 裁縫用具 ・ 筆記用具	・ 絹針 ・ 裁縫用具の 予備 ・ 紐通し	・ 絹反物 ・ 絹糸 ・ 紐	みんなと一緒に「ものづ くり」を楽しみ、家庭で の話題づくりのきっかけ になれば、と思います。
	洋 裁	島根県洋装 技能士会	3	20 人 35	トートバッグ製作 「個人別作業」	1. 洋裁についての講話 ・ ミシンの取扱ひ方 ・ まつり縫い ・ ボタン付け 2. トートバッグの製作	家庭科教室 又はコンテ ンツが 5か所程度 使える教室	・ 洋裁用具一式 ・ 筆記用具 ・ ミシン5台 ・ アイロン3台 学校で準備できない 場合、技能士会で 準備可能です	ミシン5台 アイロン、アイ ロン台3台 ※学校で用意で きない場合のみ	・ 布地 ・ ミシン糸 ・ まつり、ボタン付糸 ・ 接着芯 ・ ボタン	普段の生活の中で基礎と なる縫い方（ズボン・スカート 等の裾まつり、ボタン付け、 スナップ付け、ミシン縫） これらの全ての課程をトート バッグ製作に取り入れました。
	表 具	島根県表具内装 技能士会	3	20 人 35	不思議なからくり屏風 作り 「個人別作業」	1. 表具についての講話 2. からくり屏風の製作 ・ 表装の仕方 ・ 糊の選定、刷毛の使い方 ・ 裏打ち ・ からくり屏風組立	工作室又は 近くに給排 水設備のあ る一般教室	・ 机、椅子 ・ 筆記用具（2B鉛筆） ・ 物差し ・ 糊付け時の下敷き 用に古新聞1人4枚 程度 ・ ティッシュ	・ カッター ・ カットマット ・ ハサミ ・ 刷毛 ・ アイロン ・ 特殊製物差し ・ クリップ	・ 木製台紙 ・ 裏打用紙 ・ 糊、ボンド ・ その他 （書、絵画）	裏打ち、紙での蝶つがい の作り方、表装の仕方を 学び、思い出の記念とし て残してもらいたい。
	日本料理	島根県日本調理 技能士会	4～5	16 人 20	旬の食材を使つての 料理作り（郷土料理等） 「調理台単位に4～5人 1組のグループ作業」 ※対象人数は派遣講師の範囲内と します（グループ分けの事前検討要）	1. 日本料理についての講話 ・ 食材、調味料の選び方 ・ 庖丁、器材の扱い方 ・ 調理方法 2. 調理実習、試食 ① 鮮魚の野菜あんかけ ② 肉と蒸し野菜 ③ 青菜と揚げの煮浸し ④ 鶏御飯 ⑤ 蛸貝のすまし汁 ⑥ 水菓子 の6品を作り、全員で試食	調理実習室	調理台、庖丁、まな 板、鍋、ボール、ザル こし器、計量カップ スプーン、調理箸、 蒸し器、炊飯器等の 調理用具一式と盛付 け用の食器、箸等 他にはエプロン、 布巾（バークタオル） 魚調理時の処理用に 古新聞を少々	・ 庖丁の予備 を7丁	・ 食材一式 ・ 調味料一式	楽しく学び、おいしく食 べて、家庭での手伝いが できるきっかけになれば と思います。